

平成 28 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	25
--------	----

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴 有			
事務事業名	地域子ども・子育て支援事業				
予算科目	3 款 2 項 5 目				
予算事業名	子育て支援事業				
総合計画での位置づけ	安心な子育て環境をつくる				
担当課	健康福祉課	担当課長	物袋 由美子		
事業担当者	城戸 智美	一次評価者	亀井 玲子		
事業の性格	自治事務				
法令根拠等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、久山町地域子育て支援拠点事業実施要綱、久山町一時預かり実施要綱、久山町ファミリー・サポート・センター事業実施要綱、久山町病児保育実施要綱等				
事業の対象	久山町に住所を有する子育て世帯				
事業の目的	地域子ども・子育て支援事業として位置付けられた13事業(地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、ショートステイ、病児保育など)により子育て世帯のさまざまなニーズに対して地域での子育て支援を図る。				
実施期間	開始年度	平成 17 年度から			
	終了年度	平成 年度まで			
事業の内容	・地域子育て支援拠点事業 ・一時預かり事業 ・ショートステイ ・病児保育 ・ファミリー・サポート・センター ・届出保育施設運営補助 ・届出保育施設職員健診補助				
目的達成の指標	久山町子育て支援センター「木子里」利用者数(土日含む)				
	区分年度	単位	27 年度	28 年度	29 年度
	目標	延人	5,000	5,000	5,000
実績	延人	5,562	5,739		
指標設定の考え方	地域子育て支援の拠点として位置付ける子育て支援センター「木子里」の利用者の増を図ることで、子育て支援情報の提供ができるとともに、養育に不安のある方を保健師につなぐことができる。				
事業遂行時懸案事項等					
事業実施時懸案事項対応等					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 857 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		27 年度予算	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算
事務量	① 人工数	0.36	0.32	0.32	0.32
	② 人件費単価	6,701	7,289	7,381	7,381
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,412	2,332	2,361	2,361
事業費	直接事業費	16,073	10,916	12,186	13,000
	人件費	2,412	2,332	2,361	2,361
	合 計	18,485	13,248	14,547	15,361
財源内訳	国庫支出金	2,967	2,999	2,996	3,000
	県支出金	3,710	2,999	2,996	3,000
	地 方 債				
	そ の 他				
	一 般 財 源	11,808	7,250	8,555	9,361
	合 計	18,485	13,248	14,547	15,361

事業費計画

(千円)

区分/年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
目 標	16,073	10,916	12,186	13,000	14,000
実 績	13,569	10,679			

事業活動の実績(活動指標)

項目	単位	27 年度予算	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算
参加世帯数 (にこにこひろば)	延世帯	1,450	1,769	2,000	2,200
参加世帯数 (赤ちゃんのへや)	延世帯	213	159	200	200
参加世帯する (のびっこひろば)	延世帯	137	169	180	200
病児保育利用者数	延人	11	8	10	10
ファミサポ会員登録数 (久山町のみ)	人	—	29	40	50

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 779 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		27 年度決算	28 年度予算	28 年度決算	
事務量	① 人工数	0.36	0.32	0.32	
	② 人件費単価	6,701	7,289	6,768	
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,412	2,332	2,165	
事業費	直接事業費	13,569	10,916	10,679	
	人件費	2,412	2,332	2,165	
	合 計	15,981	13,248	12,844	
財源内訳	国庫支出金	3,922	2,999	3,059	
	県支出金	3,947	2,999	3,070	
	地 方 債				
	そ の 他				
	一 般 財 源	8,112	7,250	6,715	
	合 計	15,981	13,248	12,844	

実施備忘録

自己評価	評価者	城戸 智美
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		C
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	2	
③公平性・透明性		C
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

核家族の転入が増え、子育て支援センター「木子里」の必要性は増している。子育て支援センター「木子里」の周知に力を入れたため、転入者の利用も増えてきたが、専任の保育士が相談窓口になることで、子育て係、母子保健係ともスムーズに連携できている。

ファミサポも実施初年度から会員数は目標をクリアでき、また、活動も徐々に始まっていることから、篠栗町との広域であることの利点を活かした事業展開が可能となった。

根付いたサービスがある反面、病児保育やショートステイのように利用者の少ない事業もある。必ずしも利用者が多ければよいという事業ばかりではないが、利用者が困ったときに利用できる事業もあるため、既存の事業を明確化し、気軽に利用できるよう周知方法に工夫が必要である。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

木子里の専任保育士は運営内容も熟考し、対象年齢にあう活動に工夫を凝らしている。初めての場所での子育てに不安を持つ保護者からの相談等に適宜対応できており、今後も継続したい。

子育て支援センター「木子里」の土日については、町単独事業であり活動内容に自由度があるため、今後は企画として活動できるものを検討し、実現させたい。

ファミリー・サポート・センターについては平成28年度からの事業であるため、今後定着できるよう周知方法についても検討していく。

また、病児保育やファミサポのように広域事業もあるため、近隣町との連携についても密に行う必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	亀井 玲子
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		C
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		C
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

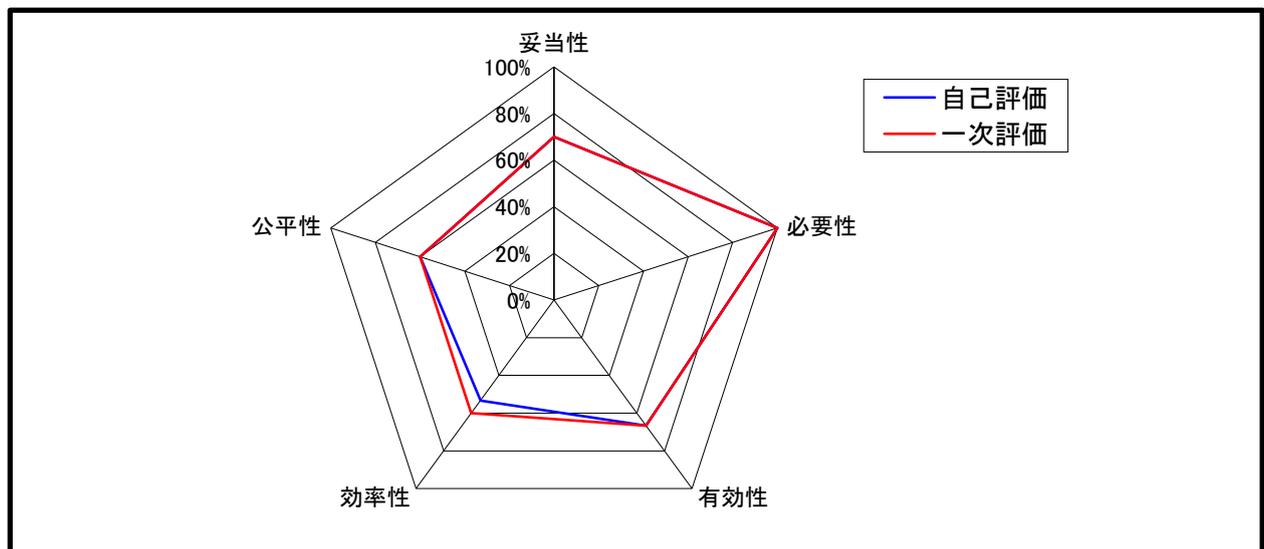


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

子育て支援センター「木子里」を拠点に、子育て支援事業を行っている。事業によっては利用者が増加し、内容を見直すなどして対応している。
今年度から取り組み始めた事業や、今後事業内容を検討していく事業もあるが、地域子育て支援の拠点としての事業を進めていく。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価 評価者 物袋 由美子

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

子育て支援センター「木子里」を拠点に子育て支援を実施している。いつでも安心して利用でき、相談や季節の行事を保育士が中心になり、町の保健師とも連携して実施している。また、病児保育やファミサポは、広域で事業を実施しており、事業実施の工夫もみられ、今後も事業継続が必要と考える。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度より子育て支援センター木子里の満足度アンケートを取り、データを可視化する。 「ひさやま子育て支援情報」の配布箇所を増加する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 3月に利用者満足度アンケートを取り、次年度の運営内容の検討につなげる。 利用者の増については、内容の変更により延べ人数が減となる活動もあるため、30年度までは現状の数値で据え置き、以降再検討する。 例年発行している「ひさやま子育て支援情報」について、広く目につきやすくするためトリアスやAコープなど近隣の販売店等にもおいてもらえるよう協議していく。

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	A
----	---

外部評価委員の意見

木子里の役割の重要性は理解できるので、今後は子育て世帯へ更なる周知を行ってほしい。また、アンケート調査を実施し、利用者の満足度をデータ化しておくことも検討されたい。ファミリーサポートセンターの積極的な登録・利用者の増加が求められる。

経営者会議

経営者評価者	町長
--------	----

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	A
----	---

経営者会議の評価

木子里を始めとする利用者の増加が進んでおり、目標数値も達成している。今後も利用者数の増加に向けて、継続して事業を行っていくこと。また、成果指標と活動指標について再確認を行うこと。